



4階東病棟

部署の特徴

4階東病棟は主に整形外科、形成外科、救急科の患者様が入院しています。大半は整形外科の患者様です。手術目的で入院される方がほとんどで、手術前後の周手術期管理が重要となります。特に術後は、患部の保持や固定、神経障害の観察、疼痛コントロール、点滴やモニターなど、管理することは様々あります。また、ご高齢の患者様も多く、術後せん妄発症や認知機能低下することがあります。転倒転落の予防やライン類管理など、安全面の配慮を徹底する必要もあります。対象となる主な疾患は以下の通りです。

【整形外科】

大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折・鎖骨骨折・上腕骨折・腰部脊柱管狭窄症・頸髄症 等

【形成外科】

手指切断・軟部組織腫瘍・難治性潰瘍・瘢痕・熱傷・顔面骨折 等

【救急科】

頸髄損傷・交通事故や転落事故等による多発骨折や外傷・全身熱傷・敗血症・蜂窩織炎 等

勉強しておくの良いこと

- ・骨、筋肉、神経の解剖生理学
 - ・周術期管理
 - ・高齢者、認知症患者、せん妄患者の看護
 - ・薬剤について(鎮痛薬、下剤、降圧薬、抗生剤 等)
 - ・退院支援について(リハビリや在宅セットアップ目的での転院、施設退院 等)
- 看護についての勉強はもちろんですが、社会人としての挨拶やコミュニケーション等も大切です！

よく使う参考書・教科書

- ・病気がみえる
- ・看護がみえる
- ・基礎看護技術、フィジカルアセスメント
- ・今日の治療薬
- ・疾患別看護過程

